

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援 はっぴーone純		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 22日		～ 令和8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 26日		～ 令和8年 1月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 12月 22日		～ 令和8年 1月 29日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教員や保育士、子育ての経験がある訪問支援員が在籍している為、利用児の状況に応じた支援、助言等が出来る。	利用児の背景や特性、こだわりを十分に把握した上で現在の利用児の状況や困り感、また、ご家族の困り感やご心配などの聞き取りを行いながら、ご希望に沿った支援が出来る様になっている。保育所等訪問支援に関わる地域の事業所が作る連絡会に在籍し、研修や情報交換等を行っている。	外部研修等に積極的に参加していく。 他事業所の保育所等訪問支援員と情報交換や連携を図っていく。保育所等訪問支援後、学校側との情報共有の機会を設け、連携を図っていく。
2	保育所等訪問支援を行う事で利用児の困り感を職員間で共有し、支援方法を話し合う事が出来る。	保育所等訪問支援後、カンファレンス会議等で訪問支援の様子を報告し、チームとして困り感に対する対策を話し合っている。また、成長した事も確認している。	保護者様に報告後、学校にも提出をする事で困り感に対する対策を共有していく。保護者様へ報告した後、学校との情報共有の機会を設け、統一した支援を行っていただけるよう、連携を図っていく。
3	保護者様と学校との懸け橋となる事でより良い関係を構築出来ている。	利用児の困り感や成長した所を学校とご家庭と双方から聞き取る事で、利用児の支援の方向性や様子の理解を深める事が出来ている。様子の違いなどあった際には情報共有し、本人に寄り添ったサポートが出来る様に努めている。	学校の先生や利用児の担任と対面で話をする機会を多く設け、共通したサポートが出来る様に連携を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様から評価表に対し、ご意見が無く何を意見すればいいのか分からないと感じさせている。	何に対して意見を言えば良いか分からない可能性がある。	家族支援や送迎時等の時間を使い、情報提供の場を多く設け、質問やご意見が出やすい環境作りを取り組んでいく。
2	訪問先施設(小学校)の中で、はっぴーone純の支援やサポート内容が伝わっていない所がある。	報告書をお渡ししているが、直接の助言や情報交換が不十分である。	訪問支援後に情報共有の機会を設け、対面して助言できる環境を設けていく。
3	訪問先施設(小学校)の先生と情報共有の時間を十分に確保できていない。	保育所等訪問支援実施時等に情報共有の時間を設けているが、次の授業など多忙の中で先生と短時間の情報共有でしか話せておらず、情報交換が不十分である。	保育所等訪問支援後の報告書の引継ぎのみになる事が無い様に学校迎え時や担当者会議等を用いて報告書の情報共有や助言、補足についてお伝え出来る様に改善に努めて参ります。また、ご希望があった際は迅速に話し合いの場を設けられよう努めて参ります。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	保育所等訪問支援 はっぴーone純
------	-------------------

公表日 R8年 2月 24日

利用児童数 16名

回収数 8

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	7			1		現在、教具教材を使用している訪問支援は行っておりません。今後、必要な状況になった際は早急に対応していく。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	8					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	8					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	8				学校に訪問する日時や教科など、しっかりと伝えてくださるので安心する。	保護者様のご希望に沿って訪問日程や教科を調整しております。今後も情報共有を行いながら訪問支援を行っていききたいと思います。
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	8					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8					保育所等訪問支援後の面談の際に、どのような支援をしているのかが分かりやすい説明を目指して参ります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	8				担任の先生がかけた声掛けや、やりとりについて、詳しく教えてくださるので、まるで自分も見に行っているかのような気になり、想像がしやすく、ありがたいです。	ありがたいお言葉に感謝いたします。今後も情報共有を行いながら、意向を計画書に入れていきたいと思っております。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6			2	担任の先生がかけた声掛けや、やりとりについて、詳しく教えてくださるので、まるで自分も見に行っているかのような気になり、想像がしやすく、ありがたいです。	保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえて作成している事を説明して参ります。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					私達が発行する支援が計画書のどこに当たるのか面談時等を利用し、お伝えして参ります。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	8			1		実施後、報告書を小学校にお渡ししていますが、より寄り添ったサポートが出来る様に対面で助言、情報共有する時間を設けて参ります。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	7			1		研修等のご希望があった際は、実施する機会を設けられるよう、努めて参ります。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	8	1		1		共通理解が深まる様に分かりやすい説明を目指して参ります。またその日の出来事を送迎時等を利用して、その日に伝える事が出来る様に努めて参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8			1		定期的に助言が出来る様、サポートを目指して参ります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8				我が子に会った支援や声掛けをしてもらっているの、ありがたいと思う。	り添った支援を行って頂けるよう、努めて
	18 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8					
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8						
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	8						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	8				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	8			訪問してすぐに内容の報告を共有してくれるので、ありがたい。	今後も都度、報告していけるよう努めて参ります。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	6		2		より連携を図っていただける様に情報共有や意見交換の機会を多く設けて参ります。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8				
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	8			学校に、はっぴーの先生が来るのが、うれしいようで、毎回うれしそうに話してくれる。。	学習という苦手意識を持ちやすい中で楽しみを持ちながら少しずつ挑戦する意欲が増すように引き続き工夫をして参ります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	8				

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

R8年

2月

24日

保育所等訪問支援 はっぴーone純

利用児童数 16名

回収数 8

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4	1		具体的に助言していただき、子どもの指導に役立てられました。	有難い、ご意見ありがとうございます。直接の助言、または情報共有の時間を設ける事が出来ない場面が多く、大変ご迷惑をおかけしております。ご希望の際は日程調整を行います。電話や担当者会議、学校迎え時等も利用してお話出来る機会を設ける事が出来る様、努めて参ります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3	2			質問に対し、お答え出来る様に努めて参ります。またその場でお答え出来ない質問については、電話や次にお会いする際にお伝えするなど迅速な対応を目指して参ります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	3	2			ご意見を頂きありがとうございます。様々な意見を頂く事で、より良い支援や対応を改善して参ります。さらなる成長が実感して頂ける様に学校との情報共有や連携を高めて参ります。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	2		子どもへの対応の仕方をアドバイスしていただき、助かりました。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	4	1		いろいろ教えていただき、感謝しています。	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の会話や日記などから、児童が楽しく通っている様子が伝わってきます。お迎え時にゆっくりお話しできたら良いのですが、なかなか時間を設けることができず申し訳ありません。今後、情報の共有をどのようにしていけばよいか、考えていきたいと思えます。</li> <li>・報告書を見ると、毎回した事を細かく書かれていて、行動を振り返りやすいです。それに対する助言も分かりやすく、参考にしています。7月、12月、3月は学期末で授業が終わっていたり、終わらなくて忙しかったりするので、避けていただけるとありがたいです。</li> <li>・毎回、丁寧に見てくださって、支援にいかすことができている。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。</li> <li>・参観してもらい、その後、学校での様子をお伝える程度だったので、「2」～「4」の項目は回答が出来ませんでした。参観後の記入表は、授業前後の様子が詳しく書かれていて、客観的に児童の様子を把握する事ができた。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等訪問支援時に情報共有の場を設け、はっぴーone純の支援内容や学習の流れを改めてお伝えさせて頂きます。また助言内容について対面でもお伝え出来る様に努めて参ります。</li> <li>・お忙しい中、日程調整をしていただき、ありがとうございます。保護者様へお伝えし、7月、12月、3月は訪問支援を避けたいと思えます。</li> <li>・報告書についても学期中にお渡し出来るように致します。お渡しすることに、お日にちを頂く際には事前に理由をお伝え出来る様に情報共有をして参ります。</li> <li>・訪問支援後に、情報共有の機会を設ける事が可能ですので、いつでもご連絡をいただけたらと思えます。</li> </ul>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援 はっぴーone純		公表日		令和8年 2月 24日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3	0	報告書を作成する上で支援に関する教材が不足していると感じる。よりよい支援を行う為、取り入れたい。	より良い訪問支援を行うため、教材等を購入等し、取り入れていく。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	利用者によって月1回希望者の方もいらっしゃるが、安定した訪問支援を行っていた事から、適切だと考える。		
	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	カンファレンス会議等で振り返りを行い、支援に活かしている。		
業務改善	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	保護者様に評価表を記入して頂き業務改善に繋げている。	評価表に記入出来ない保護者がいる事も予想され、送迎等で意向等の聞き取りも実施していく。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	カンファレンス会議等で把握する機会を設け、業務改善に繋げている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0	評価表を記入して頂き、業務改善に努めている。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	定期的に事業所内研修を実施している。		
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	0	カンファレンス会議を行い、分析した上で保育所等訪問支援計画を作成している。		
適切な 支援の 提供	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	スタッフ全員でカンファレンス会議を行い、共通理解に繋げている。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0	書面や会議等や送迎時等を利用し、情報共有や連携を取り、意向を伺い盛り込んでいる。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	計画を元に支援を実施している。実施後も定期的にカンファレンス会議等を行い、計画の見直しを行っている。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	保護者より情報提供を受けた知能検査等、全職員で確認を行い、支援を実施している。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	ガイドラインや会議、カンファレンス会議、送迎時に情報共有を行った事等を踏まえて設定している。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	計画を元に支援を実施している。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	朝礼時、打ち合わせや確認を行い、支援を行っている。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	朝礼や終礼時、カンファレンス会議等で報告を行い、共有、改善に努めている。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	0	訪問先と情報共有をし、尊重して支援をしている。		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3	0	記録を残す事を徹底している。カンファレンス会議の記録を残し、共有や改善に努めている。		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	会議や送迎時、保育所等訪問モニタリング等で意向確認を行いながら見直しを行っている。訪問後の家族支援を行い、意向確認を行っている。		
関係 機関 や	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	事前に会議等を設け、当日は状況をよく理解した者が各会議に参加している。		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	相談員や学校関係者、地域の福祉関係機関と連携を図り支援を行っている。		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	移行の際には、情報共有を図り、他事業所へも見学に行くなど情報共有を行っている。		

保護者との連携	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	0	Z o o m等で参加し、研修を行っている。今後も機会があれば参加していく。	他事業所との研修を行い、質の向上に努めて参ります。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	3	日程が合わず参加できていない。今後、参加出来るよう調整していく。	事前に会議等を把握し、日程調整を早い段階から行い参加出来るようにしていく。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	送迎時や保育所等訪問支援後の報告時等に情報共有を行い、共通理解を持っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	家族支援を行った時や、保護者会時に研修を行ったりしながら情報提供を行っている。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	利用開始時や家族支援時等を利用して運営規程、利用者負担等について説明の機会を設けている。また質問があった際には電話等をすぐに行い、説明に努めている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	0	訪問前に文書にてお伝えをしているが十分とは言えないと感じる。今後、目的等を詳細に伝えていく。	目的等、詳細を伝える際に口頭でも説明を実施し、理解を得た上で実施をしていく。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	保育所等訪問支援後の報告、担当者会議等を踏まえ、保護者様の意思を尊重している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0	毎回、家族支援時や保育所等訪問後のモニタリング時など説明を行い、同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	0	連絡があった際には助言や面談時に支援・助言を行っている。緊急性が感じられた際には、こちらから電話等を行い、保護者の悩みに迅速に対応出来るように努めている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	0	保護者会を定期的に開催しており、交流する機会を設けている。	
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	朝礼や終礼、カンファレンス会議等で話し合い、対応を行っている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	0	毎月の通信(はっぴーone純だより)やホームページ等により活動概要を発信している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	鍵付きの棚で管理を行い、写真等も他児が映らない様に留意している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	保護者様の気持ちを汲み取りながら意思疎通や情報伝達を行っている。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0	送迎時等を利用して応じる体制を整えている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	0	訪問先施設へ報告書をお渡ししている。学校側から希望があった際、情報共有の時間を設けられるようお伝えしている。担当者会議等も行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0	報告書作成後、保育所等訪問支援後の面談や家族支援を通じて共有する時間を設けている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	鍵付きの棚で管理を行う。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	0	信頼関係がとても重要であると認識しており、報告書等で助言を行っている。担当者会議等で、より補足して説明を行い助言を行っている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	各研修等も実施しマニュアルも作成し訓練まで実施している。実施後、問題提起を行い改善に繋げている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	安全管理に関しても計画を作成し研修等、実施した中で支援を行っている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	朝礼や終礼、カンファレンス会議等で再発防止に向けた話し合いを実施している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	虐待防止委員会が設置されている。担当職員が出席し他職員に伝達、共有し防止に努めている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0	利用開始前に説明を行い、同意を得た上で利用を開始している。	